

遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)の総合診療基幹施設に認定

このたび、一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構より「遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹病院」に認定されました。この認定は、遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC; Hereditary Breast and Ovarian Cancer syndrome の略称)に特化した総合診療体制が整備されていることなどの条件を満たした施設となります。

■**遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC; Hereditary Breast and Ovarian Cancer syndrome の略称)**とは
遺伝性乳がん卵巣がん症候群(以下 HBOC)は、「遺伝性のがん」の種類の一つです。BRCA1 遺伝子あるいは BRCA2 遺伝子に生まれつき病的な変化(変異)があることで、乳がん・卵巣がん・前立腺がんなどの発症リスクが高いことがわかっています。

■一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構(2016年8月設立)

(一社)日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構は、遺伝性乳がん卵巣がん症候群に特化した総合診療体制の整備拡充のため、日本乳癌学会、日本産科婦人科学会、日本人類遺伝学会の3学会が中心となり設立されました。

「遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度」の施設認定は、HBOC の診療体制をわかりやすくするために「**基幹病院**」「**連携病院**」「**協力病院**」の3つに区分され、患者さんや医療関係者に認定施設を公表しています。

静岡県では、**基幹病院は当院を含む2施設**、**協力病院は4施設**が認定されています。(2020年4月1日時点)

※ 一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構ホームページ「認定施設一覧」<http://johboc.jp/shisetsulist/>

■認定施設の役割

基幹病院は、HBOC の知識と診療技術を有する臨床遺伝専門医、乳腺専門医、婦人科腫瘍専門医、認定遺伝カウンセラーが常勤し、検査や手術などを行える体制が整備されていることなどが条件となっています。

(表1)

HBOC の患者または疑われる患者の診療は、HBOC の知識と診療技術を有する各分野の連携が重要となります。1つの医療機関で全ての機能をそろえている施設は少ないため、各地域で認定施設の医療機関が連携し、補い合って対応します。



《当院の診療責任者 乳腺科 吉田雅行医師より》

遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)及びその疑いのある患者さんやご家族における遺伝カウンセリング、診療体制の整備を図るとともに、一般の方々や医療従事者に対して HBOC に関する啓発・教育を行って参ります。スタッフ一丸となってシームレス(継ぎ目のない)医療を提供していきたいと考えています。

是非、貴社にてご紹介いただければ幸いに存じます。貴紙で取り上げて頂けるようでしたら、

予め下記連絡先までご一報いただけましたら幸いです。よろしくお願いたします。

【問い合わせ先】聖隷浜松病院 学術広報室 鈴木 TEL053-474-2753・FAX053-474-2763

（表1）【施設認定要件一覧】

	基幹施設	連携施設	協力施設
臨床遺伝専門医	◎	○	
認定遺伝カウンセラー	△		
乳腺専門医	◎	○	○
婦人科腫瘍専門医	◎		
HBOC遺伝学的検査実施	◎	◎	
乳癌サーベイランス	◎	○	○
婦人科サーベイランス	◎		
RRM	◎	○	
RRSO	◎		
HBOC講習会	◎	◎	◎
HBOCカンファレンス	◎	◎	
患者登録	◎	◎	
総合診療基幹施設連携		◎	◎

◎：必須，△：望ましい，○：いずれか必須

一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構ホームページより

是非、貴社にてご紹介いただければ幸いに存じます。貴紙で取り上げて頂けるようでしたら、

予め下記連絡先までご一報いただけましたら幸いです。よろしくお願いたします。

【問い合わせ先】聖隷浜松病院 学術広報室 鈴木 TEL053-474-2753・FAX053-474-2763